

たわわ



地域で生きる障害者を支える会通信

発行 2004年7月28日

47号

「地域で生きる障害者を支える会」会報

住所：横浜市港北区下田町6-31-8

活動ホーム「しもだ」内

TEL 045-562-3600

FAX 045-562-5991

デイサービスとの連携を大切に

―― 重い障害の人も地域の中で安定した生活を ――

昨年の冷夏とは打って変わっての猛暑。都市では自動車を走らせ、冷却のために熱気を吐き出し・・・赤ちゃんや、車椅子に乗る人など、地面に近いところで動く人達には、いっそうつらい夏です。

* * *

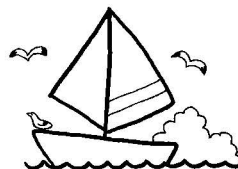
さて、私たち「支える会」も今年度の第一回総会を終え、活動計画などについて話し合いました。（報告は別記）

皆が「重度重複障害者も健康で生き生きとした普通の生活を送りたい」という思いで、地域活動ホーム「しもだ」のプログラムを作り上げてきました。このデイサービスの活動の延長線上にあるものとして、高齢化する親達の将来を見据え、障害者の安定した生活を考えると、グループホームは是非とも必要なものでした。

一館目「よつばホーム」に続き、取りあえず2館目の建設で一息つきましたが、実際には中身の充実と安定はこれからです。重い障害をもちながら地域で生き生きと過ごすためには、グループホームとデイサービスとの連携が不可欠です。ちょうど家族が職員達と力を合わせて、障害者を支えてきたように。

.....

平成16年度第1回総会報告



日時：平成16年7月5日（月）10：30～ 会場：活動ホーム「しもだ」

議題

1. 平成15年度事業報告について（承認）

グループホーム第二館目「第2よつばホーム」設立について

開所 平成16年3月29日オープニングセレモニーは4月14日（水）

所在地 横浜市港北区新吉田町5646

2. 平成15年度収支決算報告について（承認） 平成15年度会計監査報告について

3. 平成 16 年度事業計画について（承認）

①グループホームへの運営活動支援 ②体験入居、レスパイトなどの支援

③資金作り活動（資金作りを通じた活動の活性化と他団体との交流）

活動ホーム「しもだ」バザー参加、秋まつり参加（家族会を中心として）

新吉田地域交流目的のバザー実施

④情報の発信

支える会通信「たわわ TAWAWA」の発行

重度障害者の生活写真展 大倉山「ギャラリーかれん」にて

⑤学習会 講演会・会員以外にも呼びかけて行う

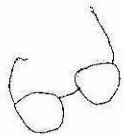
ミニ学習会・毎月 1 回 グループホーム関連事項や福祉の制度について

⑥その他 安全で住みよい地域にするためのセイフティーネットに関する取組みなど

4. 平成 16 年度収支予算案について（承認）

5. その他 役割分担について（承認）

- ・支える会の活動が充実していたので、グループホーム等が実現した
- ・ボランティアなど直接活動に参加することで、理解が深まっていくなどの意見がでた。



めがねのこえ

この前テレビで 人工呼吸器をつけた重い障害の人達が 地域で自立して生きる様子をみました。

その女の人は 小さいころからずっと寝たきりで 大きな機械と一緒に 病院で過ごし、いつも外へ出てみたいとおもっていました。今は 小型の機械が出来るようになったので 外に出て 交替で介助の人をたのみ一人で自立して暮らしています。

外国の子供を養子にして子育てもしていました。ねたきりなので おなかの上に子供を乗せて抱っこして とてもかわいがっています。

ふつう人工呼吸器をつけると 話が出来なくなると思っていました。工夫をして普通に話をしていたのは すごいなと思いました。

私は少しうらやましく思います。私もちょっと話ができるといいなと思いました。

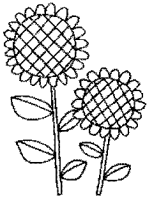
重い障害の人も たくさんの人に手伝ってもらって “ふつうに”暮らせるのは すばらしいと思います。でも自分で上手に頼めない人たちは 何人か集って いつでも職員やヘルパーのいる家で生活するのも良いのかなともおもいます。

私はいつも 障害者の人達や仲間達が頑張っているのを見ると 「私もがんばろう !」と思って元気になります。皆さんは どうですか・・・？

大 原 友 子

ボランティアも 10 年

宮田 忠夫



グループホーム2館目の開所おめでとう御座居ます。第1館目のグループホームから近い場所で休日には両館の交流も出来、道路も安心ですね。これも地域の町内会又民生委員の皆様方のご支援とお母様方の頑張りがあっての事。

常々高齢者と障害者が一緒に過ごす入所施設をと区民会議等では言っておるのですが、まだまだ港北区では期待できそうにないです。

よつばホームとの「かかわり」は定年退職した後のんびり盆栽の手入れ・庭の手入れ・細工物作りと日々を送っていた所、すべての動作が衰えたように感じ、がく然。そんなところに植木の剪定をやってくれないかとの相談を受けたのがきっかけで、最初のうちは持参のオニギリを外で昼食をしていたところ、職員のTさんに所員と一緒に食事をと部屋に。これがよつば所員とのかかわりで、サンパリエ日吉の宿泊体験場所作り、アミ戸や下駄箱作りと、ボランティア活動を体験。

それから今年の2館目開所、皆さんすばらしい。

何回目かのよつばでの昼食後、作業休憩時コスモスの高橋女史に中を見学しませんか(所員の生活)と言われたのが“ウンノツキ”。ボランティアとして積極的に参加、所員達とも気楽に話が出来ようになり、朝の挨拶で先輩のボラさんと所員ハイタッチをして喜び合っている。私が手を出すと皆さん手を引いてしまう、当時の私は障害のある人に対して、自分は立場が上だと思い込んでいたので、これだけ君達の為に頑張っているのにナゼと2、3日眠られぬ時があり……。所員の気持が理解できるようになった気でいた自分が、思い上がっていた事を痛感。

年齢や障害のあるなしは関係ない、相手がどんな人間でも、先ずちゃんと近づいてみなければいけない。あれこれ奮闘してきたが、いつの間にか支えられていたのは自分の方だったことにあらためて気付かされた自分の至らなさへの反省の証でもある。その後すんなりハイタッチをしてくれるようになり、この時のうれしかったこと。

ところが最近では「カミナリ」を落とすことが多々反省の毎日です。よつばの職員さんボランティアさん、皆さん善い人達で大変な仕事をてきばきと優しくこなしているのにただ感心し頭の下がる思いです。

私も「しもだ」のボランティア 10 年、70才になり体力的な限界もあり、そろそろこの辺がヒケギワかな・・・と思う今日この頃です。



ご入会、ご継続 ありがとうございます [敬称略]

《会員》

石立 政文

《賛助会員》

阿部 弘美

金子 瑠美子

小宮山 裕子

鈴木 玲子

[16 年 7 月 27 日現在]

今月のよつばホーム

よつばホーム

人形の家に行きましょウツアー！

7/10（土）よつば女性陣で山下公園近くの【人形の家】に行ってきました。

参加者は高島さんと高島さんのお姉さん、花岡さんと花岡さんのお母さん、ヘルパーの福島さん、佐々木さん、職員の太谷の総勢7名。綱島からみなとみらい線にゆられて、賑やかにスタートしました。

人形の家は何度目かの人、初めての人、様々でした。みんなで夢中になったのがガラスのケースに入った各国の人形がオルゴールの音色に乗ってグルグルと回るところで、あれがかわいいこれがかawaiiと言いながら何十分も見ていたような気がします。

お昼はホテルサンポートへ。スタンドグラスがとてもきれいなレストランを予約していたので、そこで食べました。女ばかり7人も集まると話がつきないもので、始終笑い声が飛び交っていました。

残念ながら時間がなくてその他の観光まではできませんでしたが、みんな楽しんだ様子で次もまたどこかに遊びに行きましょウと約束し、ツアーは終わりました（よつば綱島間の送迎は山田 宏さんのお父さんでした。ありがとうございます）。

ちなみに同じ日、男性陣は留守番...ではありませんでした。藤田さん、福田さん、ヘルパーの野口さん、富岡さん、職員の鈴木でやはり外出し、レストランでおいしいものを食べてきたとか。詳しくは藤田さん、福田さんに聞いてみて下さいね！

第2 よつばホーム

いつの間にか梅雨も明け、暑い日が続いていますが、皆さん体調は崩していませんか？

今年の暑さは異常ですね。何なのでしょう…！？

第2 よつばホームでは阿部 健市さん、大原 友子さんが夏風邪をひき体調を崩してしまいました。1週間～2週間休んでしまいました。

よつばホームでも高島さん、デイサービスでも何人かが体調を崩したそうです。

今現在も咳や体のだるさが残り本調子でない方もいますが、休んでいる人は、やっと居なくなったところですよ。

エアコンを付けないと、暑くて仕方がないし…

かといって、付けっぱなしでは体がだるくなるし…

今年の夏の暑さは、体温調節の難しい重度障害者には厳しいです。汗をかけないので体内に熱がこもりやすいのです。

早く、過ごしやすい季節になってもらいたいものです。

★デイサービスの夏季休暇中、よつば・第2 よつば合同で外出する予定です！！

美味しいものを食べて、遊んでしま～す